

事前申込
不要

入場
無料

死刑廃止の 実現を考える日

日時 2018年 10月23日 (火)
場所 弁護士会館2階 講堂「クレオ」BC

17:00～20:00 (開場16:40)
(東京都千代田区霞が関1-1-3)

基調講演 **死刑廃止を哲学する**
萱野稔人 津田塾大学教授

内容 (予定)

- ・ ゲストスピーチ
駐日英国大使
駐日欧州連合代表部次期大使
外国公使
- ・ 基調講演「死刑廃止を哲学する」
萱野 稔人 津田塾大学教授
- ・ ゲストスピーチ 漆原良夫 前衆議院議員 (公明党顧問)
- ・ 基調報告
(1) 日本の死刑制度と7月大量執行の問題点・国内社会への波紋
(2) 国際社会への波紋
- ・ トークセッション「2020年までの死刑廃止を目指して」

※10月23日から11月2日まで、弁護士会館1階ロビーにおいて
刑務所の「いま」を知る写真展を、実施予定 (裏面参照)

問い合わせ先

日本弁護士連合会法制部法制第二課
TEL 03-3580-9985 <http://www.nichibenren.or.jp/>

主催 **JFBA** 日本弁護士連合会

当連合会は、2008年から毎年「死刑を考える日」を開催し、「死刑」をテーマにしたシンポジウムを行っています (2012年に「死刑廃止を考える日」と改称し2016年からは「死刑廃止の実現を考える日」に改称)。

今年度は、「オウム13名死刑執行の波紋」をテーマに、オウム事件死刑確定者13名全員の大量死刑執行が国内外に与えた波紋を検証し、萱野稔人教授による哲学的考察を踏まえ、「2020年までの死刑廃止」の可能性について議論を試みます。

また、10月23日から11月2日まではCrimeinfoとの共催で刑務所の「いま」を知る写真展を、弁護士会館1階ロビーで実施予定です。

奮ってご参加ください。



～ 弁護士会館へのアクセス ～

地下鉄丸ノ内線・日比谷線・千代田線 霞ヶ関駅
B1-b 出口 徒歩1分 ※ 弁護士会館地下1階に直結

刑務所の「いま」を知る写真展

2018年

10/23(火) - 11/2(金) [入場無料]

会場 | 弁護士会館 1階ロビー

(東京都千代田区霞が関1-1-3)

10/23[火]~10/26[金] 8:30~19:00

10/27[土] 8:30~15:00

10/28[日] 休館日

10/29[月]~11/1[木] 8:30~19:00

11/2[金] 8:30~13:00



2018年初春。法務省矯正局と各刑事施設による全面的な協力により、東京工芸大学芸術学部写真学科で学ぶ6名の学生が、刑務所・拘置所を訪れました。

受刑者の日常の一端にはじめて触れた学生たちがそれぞれの感性で表現した写真を通し、刑務所の「いま」について一緒に考えてみませんか。

*撮影・展覧会/ディレクター

上田 耕一郎 (東京工芸大学芸術学部写真学科准教授)

*撮影・展示/構成

田中 仁 (東京工芸大学芸術学部写真学科教授)

*プリント・展示/コーディネーター

菅泉 亜沙子 (東京工芸大学芸術学部写真学科助手)

栃木刑務所 | 松村 誠也/木村 戒

黒羽刑務所 | 松村 誠也/木村 戒

千葉刑務所 | 佐藤 海帆/生原 かれん

東京拘置所 | 佐藤 海帆/生原 かれん

府中刑務所 | 鬼頭 佑輔/横山 渚

東日本成人矯正医療センター

| 鬼頭 佑輔/横山 渚

E-mail | info@crimeinfo.jp



Twitter

CrimeInfo

企画 | CrimeInfo

共催 | **JBA** 日本弁護士連合会

CrimeInfoについて

英・レディング大学とNPO法人監獄人権センターによる欧州委員会助成プロジェクトです。

死刑制度に関連する様々な情報、審議型意識調査に関する映像ドキュメンタリー、死刑をめぐる諸問題についての論文・エッセイ集などを掲載したウェブサイトを作成し、死刑を始めとする刑事司法制度への市民の理解を深め、市民社会による諸課題への取組みを促進することを目指しています。

<https://crimeinfo.jp/>